

小学校との接続、地域との連携

～理解・思考を支援する学び～



名古屋市立瑞穂ヶ丘中学校 校長 福尾 圭介
〒467-0808 名古屋市瑞穂区高田町 3-28
TEL 052-851-6381 FAX 052-853-2534
URL <http://www.mizuhogaoka-j@nagoya-c.ed.jp>

事業のねらい

中学校へ入学した1年生が小学校との違いに戸惑う姿が毎年のように見られます。本校では、数年前より、ブロック内の小学校と共有してきた「学び合い」活動をさらに充実させ、「主体的・対話的で深い学び」を実現したいと考えました。また、地域と関わる学習活動を増やし、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた足掛かりとしたいと考え、まずは、美術科の授業実践に取り組みました。

事業の内容

小学校6年間の学習内容を確認し、指導計画を作成しました

小学校図画工作で履修した題材を確認し、どの小学校の生徒でも継続・発展ができる題材を中学校1年生に配置しました。また、学び合いにより助け合うことができる題材をより多く取り入れました。

学び合いのツールとして、生徒用タブレットを導入しました

主体的・対話的で深い学びができるように、新たに6台の生徒用タブレットを導入しました。4～5人で1台のタブレットを共有することで、仲間の作品やその意図までも共有できることが分かりました。また、1台のタブレットを囲んでの協議も自然と生まれ、学び合いのツールとして、最適だと感じました。



地域の探索活動を行いました

学区内の各町内に了解を得て、美術の授業内で「自分のお気に入りのを見つけよう」と学区探索を行いました。生徒は好きな場所を撮影しました。中には花屋や神社や保育園の方に直接交渉して写真撮影の許可を取る生徒もいました。



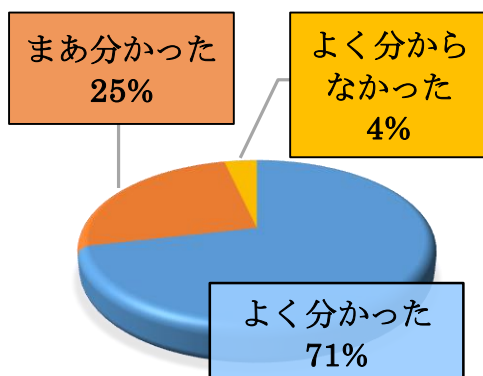
公開授業・授業研究を実施しました

文部科学省初等中等教育局視学官の方からは「美術としての目や視点が大切」など、貴重な助言をいただきました。県内の美術教員の方からも様々な意見をいただき、見方・考え方を重視した改善の方向性が定まりました。

また、保護者の方からは「今の授業は、こんなに進んでるの！」と感嘆の声があがっていました。

事業の成果

タブレット活用で仲間の考えが分かったか？



小学校との接続

学び合いの継承は、小学校との接続をスムーズにしました。タブレットの活用は、学び合いにおいて、さらに生徒間の距離を縮め、協議が深まり、仲間の考えがよく分かるようになりました。3年生では、グループ内で個々の価値観を共有し、新しい価値観を創りあげる授業実践ができました。

地域との連携

地域に学校の学習を理解してもらう上で地域と連携することは意義がありました。

事業のまとめ

本事業を通して、学び合いの学習スタイルの有効性を再確認できました。1年生では、交流が円滑になり、互いに学習への理解を支え合う場面が見られました。また、学び合いでのタブレット活用は、生徒間の距離がより縮まり、主体的・対話的で深い学びにつなげやすいツールだと分かりました。この成果を今後は各教科に広げ、学び合いの中で主体的・対話的で深い学びをさらに追求をしていきたいととを考えます。